



てだこ「てくてく登下校」推進中

浦添市教育委員会

浦添市では、市内のこども園や小中学校において「てだこてくてく登下校」を推進しています。友だちと一緒に歩けば、楽しい会話生まれ、絆も深まります。朝のすがすがしい空気をいっぱい浴びて、友だちと楽しく「てくてく」歩いて登校して、明るく元気な学校生活のスタートにつなげていきましょう

本市の現状

- 車で登校する子供たちも多く見られます。そのため体が十分に目覚めておらず、朝の活動や授業で元気が感じられない様子が見受けられます。
- 朝、子供たちを送る車が学校周辺の交通渋滞の一因となっています。
- 学校行事の際、保護者の駐車場確保や交通整理で先生方に負担がかかっています。



- ◎『てくてく登校』を行い、1日を元気にスタートしましょう
- ◎不審者や道路事情等からくる不安感で、やむなく子供たちの送迎をしている実状もあるかと思いますが、安全が確保できる区間においてはできるだけ子供たちを歩かせるようにしましょう。

なぜてくてく登下校を推進するの。

(1) 身体が元気になります。

歩くことで、心肺機能の向上や体力の強化が期待でき、体力作りの良い機会となります。

人は、体温が上昇すると元気に活動できるので、「てくてく登校」がウォーミングアップとなって、体温が上がり、脳の活性化につながり、充実した学校生活を送ることができるのです。

(2) 友達との時間が過ごせます。

友達と一緒に歩くことで、学校の話や楽しいおしゃべりができて、もっと仲良くなれま

す。また、『てくてく登下校』をすると、友だちに出会ったり、近所の人たちに出会ったりと、必然的にあいさつをかわす場面に多く出会います。

(3) 自然に触れることができます。

歩くことで季節の移り変わりを感じたり、道ばたの花や生き物を見つけたり、何気ない景色を見ながら楽しくリフレッシュできます。また、「気づく力」が育まれるなど、五感を働かせながら豊かな感性を磨くことができます。

(4) 「地域の輪」が広がります。

近所の人たちと顔合わせる機会が増えるため、地域の輪が広がり、子供たちのより良い教育環境のために、行動する人々が増えてくることで「地域の絆」を強くし、地域コミュニティを再構築していくことにつながります。

(5) 「危機回避能力」が育まれます。

児童生徒の安全を考えると、大人が安全な環境づくりをすることは大切です。しかし、子供たちの周りにいつでも大人がいるとは限りません。子供たち自身で危険を予知し、回避することができる力を日頃から育むことは、とても重要です。

『てくてくと登下校』は、交通ルールを守り自分の身を自分で守る基本的な生活態度を育み「安全安心な教育環境」を提供してくれます。

(6) 地域環境を守ることにつながります。

『てくてく登下校』により、車での送迎を少なくすることで二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスを減らし温室効果ガスを減らし、「脱炭素炭素」の取組につながります。

持続可能な未来のために環境環境問題対策として、私たちができることの一つです。

このように『てくてく登下校』には、多くの利点があります。

より良い教育環境の確保、たくましい体づくり、さらに市民の皆さんの健康づくりのために市民一丸となって『てくてく登下校』に取り組んでいきましょう！！